

会報

K A I - H O U

No. 378
2025.9.16



2025平和企画「被爆80年平和都市ひろしまを知る旅」

[開催報告] 2025年度第1回理事会	1
[開催報告] 2025年国際協同組合デー記念講演会	3
[開催報告] 能登半島地震被災地支援活動 7/12～13、8/4～5、8/14～16の3回分を掲載	4
[開催報告] 社会福祉問題研修会	11
[開催報告] 夏休み文楽鑑賞のつどい	12
[開催報告] 夏休みファミリーコンサート2025	13
[開催報告] 2025平和企画 『被爆80年平和都市ひろしまを知る旅』	15
[開催報告] 東日本大震災被災地（福島県）視察研修	17
[開催報告] 第1回理事・監事研修会	21
[開催報告] 第2回理事・監事研修会	23
[連載] 「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	24
[スケジュール]	26

大阪府生協連 2025年度第1回理事会議事録

開催概要

- I. 日 時 2025年7月17日(木)
15時00分～16時13分
- II. 場 所 大阪府社会福祉会館 5 階
503会議室

出席者

- (1) 理事（総数23名中、18名出席、5名欠席）
- ・会長理事 大江桂子
 - ・副会長理事 柴橋圭介
(欠席：勝山暢夫)
 - ・専務理事 中村夏美
 - ・常任理事 石原淳、金津正明、谷川英子、
羽多野宏子、藤井貴浩、森本秀友
(欠席：田邊新庫)
 - ・理 事 小野田郁子、桐田剛至、久保幸雄、
窪田亜紀、椿原雅子、西田紀子、
松田忍、藪内剛、山田大輔
(欠席：今口朋、木下高志、中川恵)
- (2) 監事（総数3名中、2名出席、1名欠席）
- ・特 定 監 事 鷺嶺奈緒子、榎田裕士
(欠席：山口雄司)
- (3) 陪席
- ・事 務 局 長 前田倫男

IV. 議 長 大江会長理事

V. 議事の経過の要領との結果

定刻になり、中村専務理事より、総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。

続いて、大江会長理事が議長として挨拶し、自己紹介した後、議事を進行した。

審議事項

1 役員報酬決定の件

柴橋副会長理事より、役員報酬について人事委員会での討議を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案通り、個別の役員報酬について全員異議なく承認された。

2 役員退任慰労金支給の件

柴橋副会長理事より、役員退任慰労金支給について提案がされた。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

3 理事会の役割分担の件

中村専務理事より、理事会の役割分担について提案された。

討議の結果、提案の通り、全員異議なく承認された。

4 大阪高齢者生活協同組合の加入の件

中村専務理事より、大阪高齢者生活協同組合の加入について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

5 「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」 11号碑建設募金協力の要請の件

前田事務局長より、「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」11号碑建設募金協力の要請について、同会へ10万円の寄附をする旨、提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

6 生協大会開催企画の件

前田事務局長より、生協大会開催企画について提案がされた。

討議の結果、提案通り、2025年11月26日(水)午前10時～14時、オービックホール 2 階の全ホールで開催する。講演は一般社団法人かたわら代表理事高橋悠太さんに依頼する。その他、会員生協の活動報告、COOP ゆるキャラじゃんけん等、全員異議なく承認された。

なお、窪田理事から、活動交流のスペースについて質問があった。

7 分野別会議開催企画の件

前田事務局長より、「地域」「医療」「大学」「職域・共済」を対象とする分野別会議と、大江会長と女性理事・監事との懇談として、「女性役員懇談会」の開催について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、大阪府連への加入が承認された大阪高齢者生活協同組合も分野別会議に参加することとした。

報 告 事 項

報告事項に関して下記の報告がされ、全員異議なく、確認された。

報告事項	報告者
【大阪府生協連】 1. 第64回通常総会 2. 能登半島地震支援活動 3. 委員会報告 (1)組織活動委員会 (2)生協大会実行委員会 (3)文楽・コンサート実行委員会 (4)ジェンダーフォーラム協議会 (5)健康チャレンジ実行委員会 ※以下の事項は文書報告扱いとした	前田 前田 前田 前田 椿原理事 前田 前田
【会員及び友誼団体等】 4. 消費者支援機構関西（KC's） 5. なにわの消費者団体連絡会 6. 全大阪消費者団体連絡会 7. OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会） 8. なにわフードバンク“しっかり食べや”	
【行政等】 9. おおさかスマートエネルギー協議会	

以上、すべての議事が終了したので、議長は16時13分閉会を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席理事及び出席監事は全員記名押印する。

2025年国際協同組合デー記念講演会を開催しました

7月11日（金）に、国際協同組合デー（毎年7月第一土曜日）を記念し、大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCoNoMi おおさか）で、「2025年国際協同組合デー記念講演会」を、近畿ろうきん肥後橋ビル12階メインホールで開催しました。

OCoNoMi おおさか構成12団体から50名が参加しました。

OCoNoMi おおさかの栗本会長（大阪府森林組合代表理事組合長）からのご挨拶で開会し、記念講演は、長野県高齢者生活協同組合 副理事長の田中夏子さんから「地域からつむぐ協同組合等社会的連帯経済について」と題してオンラインで講演いただきました。

「1. 私の足元 協同組合や市民活動に蓄積されているつながる機会」、「2. 国連により2025年が再び国際協同組合年とされた意味とは?」、「3. 一般利益とは何か。協同組合における一般利益への接近」、「4. 地域から紡ぐ協同～社会的連携経済＝【つながる力】を編み出す活動」等、幅広くお話いただきました。

今後の課題として、協同組合を活かしてこそ可能となる一般的利益の探求や、社会の共有財としての協同組合を市民社会や自治体が持続可能な形で活用していけるかなど話されました。

記念講演後は、大阪ボランティア協会の永井さんをファシリテーターに迎え、グループ交流を行いました。自己紹介のあと、それぞれの「所属組織の推し」を紹介しながら、「2025国際協同組合年」に関わる各団体の取組みを交流しました。



長野県高齢者生活協同組合
田中夏子 副理事長



グループ交流の様子



参加者の記念撮影

能登半島地震被災者支援ボランティア

[日 程] 2025年7月12日(土)～7月13日(日)
 [場 所] 石川県輪島市町野町金蔵地区・町野町
 [参 加] いずみ生協・よどがわ生協・きづがわ医療生協（3会員生協）
 大阪府生協連 9名
 [協 力] NGO 結、金蔵地区の石崎さん
 [開催概要]

7 / 12(土)	7 : 10	集合：JR 大阪駅 中央口改札前
	7 : 40	出発：JR 大阪駅 サンダーバード5号 敦賀駅つるぎ6号乗換
	9 : 40	到着：JR 金沢駅
	10 : 00	レンタカーにて金沢駅 出発 ※移動中に昼食
	12 : 30	輪島市町野町 金蔵集会所 到着
	13 : 00	炊き出し活動 たこ焼きづくり開始 160食（800食） アルコールインクアート作り 10名
	16 : 00	炊き出し終了 正願寺に移動し金蔵地区の歴史・万燈灯のお話
	16 : 30	民宿へ 出発
	17 : 30	輪島市の元朝市場所をはじめ被災状況を視察
	18 : 00	民宿 到着
	18 : 30	夕食
	21 : 00	民宿 到着 入浴・就寝
7 / 13(日)	8 : 00	民宿 出発
	8 : 40	輪島市町野町 NGO 町野ベース到着
	9 : 00	輪島市町野町 炊き出し準備
	9 : 30	炊き出し活動 たこ焼きづくり開始 210食（1050個） アルコールインクアート作り 10名
	12 : 00	炊き出し終了 もとやスーパーにてお弁当の引き取り
	12 : 20	輪島市町野町 金蔵集会所 到着 昼食 軽ワゴン車及び備品置き去り
	12 : 50	金蔵集会所 出発
	13 : 50	七尾市中島町小牧 被災地 NGO 協働センター たこ焼き器8台お届け
	15 : 40	金沢駅 到着 レンタカー返却
	16 : 54	出発：JR 金沢駅 つるぎ35号 敦賀駅サンダーバード36号乗換
	19 : 07	到着：JR 大阪駅 解散

[感想]

- アルコールインクアートは初の試みでどうかと心配しましたが、初日10名2日目9名の方に体験していただきました。一緒に座って、何かをすると自然と会話が生まれ、みなさんが興味深々と体験された方もされない方も、見るだけでも楽しそうにお話をされていて良かったです。

『素敵なのができたわ、お父さんの前に飾るね』(70代女性)『こんな時間を持てること無かったので嬉しい』(初めて来た男性40代)『こんな事やってくれているの知らなかった、他のところにも行ってみようと思う』(40代女性)『楽しかった、ありがとう』(80代女性)『たこ焼きも貰えてこんなにも貰えるの？玄関に飾るよ』(80代女性)

たこ焼きも、アルコールインクアートもきっかけの一つ。少しでもホッと出来たり、笑えたり、人との繋がりを感じてもらえる事が大切だと思います。2日間、地元の方の近くで活動させてもらったので皆さんの会話を聞いて楽しんだり、会話に入れて貰ったり何より1番近くで活動させてもらい逆にパワーを頂いて帰って来ています。

- 昨年10月末に行った時よりは道路などはある程度通行出来るようになったようですが、地震から2年近く経過しているにもかかわらず完全復興とはほど遠い状態なのを目の当たりにして国政のあり方の不平等さを考えさせられました。遠目から見た緑色が稲ではなく雑草だったり、棚田が未整備のままだったり、まだ取壊しがされていない家屋、抉られた山肌を見ると心が痛みます。その様な状況のなか、生協として今後どう支援していくことがより良い復興に繋がるのかを考えていく時期に来ているのだなと感じました。
- まだまだ、町も人々も震災前の状態には程遠いと思いますが、少しでも元気になってもらいたいと思います。地域のコミュニティの大切さを感じます。また参加したいです。



金蔵集会所でのたこ焼きづくり



金蔵集会所前で、いつも協力いただいている石崎さんを囲んで参加者一同



楽しく、アルコールインクアート作り



作ったアルコールインクアートをみんなで見せあった



栃木県から来られているボランティア団体の流し
そうめん企画と一緒に参加



正願寺内で責任者の石崎さんから、金蔵の歴史、
万燈会について説明を受ける



町野町のNGO 結「町野町ベース」でのたこ焼き作り



被災者と一緒に、たこ焼き作り体験



NGO 結「町野町ベース」前で、いつもボランティアのためにお昼ご飯を作りに来ている方々と参加者一同

〈金蔵万燈会の祭礼準備ボランティアワゴン〉

[日 程] 2025年 8 月 4 日(月)～ 8 月 5 日(火)

[場 所] 石川県輪島市町野町金蔵地区正願寺

[参 加] いずみ生協・よどがわ生協・パルコープ・コープこうべ・北大阪医療生協
(5 会員生協)、大阪府生協連 合計16名

[協 力] 万燈会の責任者 石崎さん

[開催概要]

8 / 4 (月)	22 : 30	集合 : JR 大阪駅桜橋口から徒歩 5 分 桜橋西交差点周辺
	22 : 30	出発 : 阪神高速 福島 IC → 北陸自動車道 加賀 (途中 北陸自動車道 加賀～小松まで火災のため通行止め)
8 / 5 (火)	7 : 00頃	輪島市内 被災状況視察
	8 : 00頃	輪島市町野町金蔵集会場到着
	9 : 00頃	ボランティア活動開始
	13 : 30頃	ボランティア活動終了 ※ボランティアメンバー昼食
	14 : 30頃	現地出発
	22 : 00頃	JR 大阪駅付近に到着・解散

今回のボランティアは、8 / 15 (金) に行われる輪島市町野町金蔵万燈会の準備です。参加者が16名の為、バスの運行を取りやめ、ワゴン車 2 台で運行することにしました。主な活動内容は前回万燈会に使用したガラス瓶の洗浄とロウソクの設置です。約 4 時間30分の集中した作業で、約2,100個の準備を行うことができました。作業が予定より早く終了したため、急遽 8 / 5 (火) に帰阪する予定に変更し、金蔵地区をあとにしました。

[感 想]

- 初めてのボランティアでした。自分の目で被災地を見れましたし、微力は無力じゃないと教わったのでこれを機に、もう少し自らボランティア活動に参加したいと思いました。準備もしたので当日のイベントも見てみたかったのですが、当日参加メンバーに託したいと思います。このような機会をいただきありがとうございました。
- 大変な作業でした。そのろうそく瓶が数千本必要となるとその所要時間はとてつもなく多くなります。地域にとって祭礼開催には「ボランティアの力」が本当に必要なんだと思いました。貢献できてよかったです。自身ボランティア活動が初めての体験でした。この参加を通じて「たすけあい」や「お役立ち」といった生協理念のすばらしさに、あらためて気づかせていただきました。



輪島市朝市跡を眺める参加者



千枚田の復興状況を眺める参加者



金蔵集会場にて、石崎さんの作業説明を受けました



作業はタライに水を入れ、蠟など汚れをタワシ等で洗い流します



こびり付いている蠟もあり、苦戦



それぞれが協力しながら作業しました



最終、ガラス瓶にロウソクを入れて準備 OK



洗ったガラス瓶を片手に参加者の集合写真です

〈金蔵万燈会の祭礼ボランティアバス〉

[日 程] 2025年 8月14日(木)～8月16日(土)

[場 所] 石川県輪島市町野町金蔵地区正願寺

[参 加] いずみ生協・よどがわ生協・パルコープ（3会員生協）、大阪府生協連 合計17名

[協 力] 万燈会の責任者石崎さん

[開催概要]

8 / 14(木)	22 : 30 22 : 40	集合 : JR 大阪駅桜橋口から徒歩 5 分 桜橋西交差点周辺 出発 : 阪神高速 福島 IC → 北陸自動車道
8 / 15(金)	6 : 45頃 8 : 30頃 9 : 00頃 12 : 00頃 16 : 00頃 17 : 00頃 19 : 00頃 22 : 00頃 22 : 30頃	輪島市内 被災地状況視察 輪島市町野町正願寺到着 ボランティア活動開始（正願寺での準備） 昼食 ボランティア活動再開（準備等） 夕食（猪カレー、サラダなど） 復興の願いともしびコンサート 万燈会 終了 現地出発
8 / 16(土)	6 : 30頃	JR 大阪駅付近に到着・解散

「金蔵万燈会の祭礼ボランティアバス」

8月14～16日、往復夜行バスで0泊3日の弾丸ボランティアバスを運行しました。昨年、能登半島地震豪雨災害復興ボランティアで、石川県輪島市町野町金蔵地区に行った時、万燈会の話を聞きました。

会場となる正願寺。以前は、金蔵の五カ寺を中心に3万本のロウソクで行なわれていたものが、2016年を最後に途絶えていました。昨年は1月1日に発生した能登地震の復興を願って、8月15日に2200個のロウソクに火が灯りました。今年は約70名のボランティアが集まり、午後4時、ドラの合図でロウソクに点火していきました。お寺の中でトランペット、ピアノコンサートが行われ、終わった午後8時には、辺りは真っ暗。揺れるロウソクの炎が、幻想的な雰囲気を作っていました。10時の消灯は1つ1つ息をふきかけ、消していきました。片付けは翌日のボランティアにおまかせし、大阪へ帰路しました。

[感 想]

- 伝統的な行事だった万燈会は、村人の高齢化で担う人がいないという現実をお聞きし、ボランティアの存在が欠かせない。輪島や金蔵の伝統的な文化はその地域のものだけでなく、日本にとっても大切なもの。これからの復興支援は単なる物の支援ではなく、地域コミュニティが回復するための心のケアや今回のような文化的行事の支援なども大切。今後も継続した支援が必要だと感じました。
- 地域の再生や活性化には、地元の方の居場所づくりや行事なども含めた復活や継続が本当に必要だと思いました。そのための支援を継続していくことが大事なことだと思います。地元の方の思いや要望も伺いながら一緒に続けていきましょう！

- 実際に行って、目でみて肌で感じる事が大事。私たちの活動は微力だけど、無力ではない
とのおもいを強く持ちました。機会があれば、ボランティア活動に参加していきたいです。
- 朝市の風景、傾いた電信柱など時間がたってもそのまま、切なく思いました。
- 更地になった住宅跡をみても、仮設住宅から、元の生活に戻るもののハードルの高さを感じました。
- 万燈会の明かりは本当に美しく、正願寺が金蔵地区の人にとって、大切な場所で、心の拠
り所なのだと感じました。この静かで美しい風景が、これからも絶えず続くように、支援
し続けたいと思います。



ろうソクのに入った瓶をセッティングしています



セッティングを終えた参加者



ろうソクに点火して
いきます



能登の復興を願って、
灯します



大阪府生協連は「能登 愛 復興」の「興」の字を
担当しました



会場となった正願寺

社会福祉問題研修会を開催しました

7月23日（水）、大阪府社会福祉会館3階301にて、2025年度の「社会福祉問題研修会」を開催しました。8会員生協等から51名が参加しました。

今年度の研修は、一般社団法人なにわフードバンクしっかり食べや 理事長 松岡 賢司さんを講師に、大阪の子どもの貧困や生活困窮の現状を背景に、2025年4月に設立した「一般社団法人なにわフードバンクしっかり食べや」の設立の経緯や取り組み等について、講演いただきました。

最初に、子どもの貧困について大阪府子どもの生活実態調査の資料を基に、子ども食堂の推移と現在の課題、普通の生活水準を下回っている相対的貧困と大阪の現状について報告されました。そうした背景から大阪府下を活動エリアとする協同組合が支える新法人フードバンク設立の経緯があり、事業の目的・内容を実際の活動の写真を交えながら、具体的な事例を報告されました。講演後は質問もあり、活発な交流になりました。

【参加者 感想抜粋】

「子ども食堂がこれからますます地域に必要とされるが、行政の下請けではない、子ども食堂だけで地域の課題が解決するわけではなく行政と子ども食堂、できることをお互い協力しながらやっていきたい、という近藤さんのお言葉の紹介が印象に残りました。大阪の小学生の夕食に関する様々なデータから、これだけの子が孤食・貧困に直面していることに驚きでした。協同組合が支えるフードバンクだからこそできる役割は大きいと思います。個人的にも微力ながら協力できることはさせていただき、今後を期待したいと思います。」

「なにわフードバンクにかける松岡さんの熱意を知り、感銘を受けました。なにわフードバンクの取り組みが大阪に根付き、人々の支えになることを祈っています。貧困に関しては、5人に1人という大阪の貧困率の高さや、貧困状態にある人を支援する行政の施策が地域のボランティアありきで計画されることもあることを知り、驚きました。生協が行政とも地域のボランティアとも良い関係を築き、ときには行政と地域のボランティアを繋ぐ役割も担えればと感じました。」



「なにわフードバンクしっかり食べや」
松岡理事長の講演



会場内の様子

夏休み文楽鑑賞のつどいを開催しました

7月25日（金）、国立文楽劇場にて「夏休み文楽鑑賞のつどい」を開催しました。

「夏休み文楽鑑賞のつどい」は、大阪府生協連の会員生協の組合員を対象に、大阪生まれの伝統芸能「文楽」を身近に感じていただく機会として、国立文楽劇場 夏休み文楽特別講演の第一部「親子文楽」を大阪府生協連の買取り講演として開催しています。1993年から開催し今年で33回目となりました。

例年定員を上回る申込をいただき、抽選となる大人気の企画です。今年も11生協から1,080人のお申込みがあり、抽選の結果731人の方が当選されました。

今年は、三蔵法師が孫悟空と猪八戒を従え、経典を求める旅を進め、新たに仲間となった沙悟浄と共に、多くの困難を乗り越えて天竺に着くお話「西遊記＜完結編＞ 流沙川の段／火焰山より芭蕉洞の段／祇園精舎の段」を上演しました。

また、演目の間に「解説 文楽ってなあに？」と題して、文楽人形の動かし方の解説があり、よくわかりました。

【上演内容】

『西遊記＜完結編＞ 流沙川の段／火焰山より芭蕉洞の段／祇園精舎の段』

『解説 文楽ってなあに？』



毎年人気の企画です。



皆さんご存知の孫悟空



人形たちと記念写真に並ぶ列



猪八戒もお見送り

「夏休みファミリーコンサート2025」を 開催しました



7月31日（木）、「夏休みファミリーコンサート2025」を、演奏「日本センチュリー交響楽団」、会場「NHK 大阪ホール」にて開催しました。

午前・午後の2回公演に、12生協から2,304人の参加となりました。また、東日本大震災の避難者を12名、能登半島地震の避難者を11名をご招待しました。

愉快なリズムに乗って「ウィリアム・テル」で幕を開けたコンサートは、「音楽の魔法で奏でる夢の世界へ！」というサブタイトルどおり、誰もが一度は耳にしたことがあるクラシックの名曲から、大人気のアニメ主題歌メドレーまで、ワクワク・ドキドキ迫力満点のオーケストラを体感できるプログラムでした。

また、指揮者として曲を奏でる体験ができる「指揮者体験コーナー」では、自らタクトを振ってオーケストラを感じてみたり、映画「となりのトトロ」の名シーンが、ナレーションとオーケストラの音色で鮮やかによみがえる「オーケストラストーリーズ」など、音楽の魔法で奏でる夢の世界を満喫できました。

参加者からは、「初めて生のオーケストラを体験した孫娘は目を輝かせて、聴き入っていました」「きれいな音色に癒されました。心が洗われました。ありがとうございました」「子どもと一緒に楽しめる機会が出来てうれしかったです。生の演奏を聴くことができ、楽しい気分になりました」「10歳でヴァイオリンが弾け、堂々と演奏している姿に感動しました」など、好評の声をいただきました。

【演 奏】 日本センチュリー交響楽団

【指揮とお話】 関谷 弘志 氏

【プログラム】

● オープニング

ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

● ヨハン・シュトラウスⅡ世 生誕200周年

ヨハン・シュトラウスⅡ世：ポルカ・シュネル「雷鳴と雷光」

ヨハン・シュトラウスⅡ世：ワルツ「美しく青きドナウ」

● 協奏曲を聴いてみよう

サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番

サン＝サーンス：ロ短調作品61より第3楽章

ヴァイオリン独奏 栗原 澄 氏

●指揮者体験コーナー

オッフェンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲よりカンカン

●アニメの名作をオーケストラで！

三村総徹編：ドラえもん主題歌メドレー

●オーケストラでジブリの世界へ！

久石 譲：オーケストラストーリーズ「となりのトトロ」

三村総徹編：アニメ主題歌メドレー2024

ナレーション：竹平 晃子 氏

●アンコール

ヨハン・シュトラウス：ラデツキー行進曲

【参加者の感想】

〈指揮者体験〉

「指揮をする人によってリズムが変わっていく様子がよく分かり指揮者というポジションの重要性を感じたコーナーでした。」

〈ヴァイオリン独奏〉

「まだ小学生4年生なのに実に堂々とした演奏をされ驚きました。将来が楽しみです。小さいお子さんもたくさん来られているので、音楽を好きな子にはとてもよい刺激になったのではないかと思います。」

〈全体〉

「生でオーケストラの演奏を見て、聞いたのは今回が初めてでどんな感じなのかも全く知りませんでした、演奏が始まって最初のスイス軍の行進のスピード感と力強さに圧倒されました、本当にこの感情を例えられる言葉が見つからないほどに感動しました。その後の演奏も全く飽きなくて、前半が終わった時、もう前半が終わってしまうのかと少し淋しい気持ちになりました。」

トトロの演奏も、ナレーションが付いていて、映画の進行と合わせて分かりやすく解説をしてくれていて凄く面白かったです。また機会があればコンサートを見に行きたいです。本当に最高の時間をありがとうございました！！」



大江会長の開会挨拶



指揮者体験



指揮者・ヴァイオリン独奏者・交響楽団へ花束贈呈

2025平和企画 『被爆80年平和都市ひろしまを知る旅』

- [日 程] 2025年 8月13日(水)～ 8月14日(木)
- [場 所] 広島県広島市 平和記念公園及び広島平和記念資料館等
- [参 加] パルコープ 7名・近畿大学 5名・大阪教育大学 1名、
大阪電気通信大学 1名（4 会員生協）、大阪府生協連 合計15名
- [協 力] ASSIST-K 代表 高田 公喜さん
- [目 的] 過去の戦争や現在も続く世界の紛争。そして被爆80年。歴史や現状から戦争の悲惨さ、いのちの大切さを学ぶ機会として、原爆投下の地、ヒロシマを知り、戦跡めぐり、戦争体験を聞く会などを通して、平和を考える企画とします。大学生協とパルコープとの共同企画とします。

[開催概要]

8 / 13(水)	10:30	新大阪駅集合
	11:02	新大阪出発
	12:27	広島駅到着
	13:00	広島県立大学サテライトキャンパス着
	13:10	開講「平和と核兵器について考える」ASSIST-K 代表 高田様
	14:20	平和ワークショップ（3～4名のチーム）
	16:10	平和記念公園内の碑めぐり（原爆の子の像、原爆ドームなど）
	18:00	ピースナイター観戦（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島）
	22:00	ホテル着 就寝
8 / 14(木)	7:30	ホテル出発
	7:50	平和記念公園の碑めぐり（被爆者が描いた原爆の絵11号碑）
	8:30	広島平和資料記念館 視察
	9:30	「ヒバクシャ被爆証言」山本様（94歳）
	11:00	高田様と懇親昼食
	12:00	宮島観光
	17:03	広島駅出発
	18:28	新大阪到着 解散

[参加者の感想]

- 平和について考える機会となりました。日常業務に於いて、生協の理念である平和な暮らし実現を学ばせて頂きました。平和が当たり前では無い事、平和は大事な事、平和と口に出すと、日本では無言の圧力があると共感しました。外国人の方が、平和に対して関心や身近に捉えている。コレは学校教育の問題もあるのではないかと感じました。1人1人が平和の大事さを口に出す事が大事だと思います。
- ワークショップについて、若い大学生からも戦争の事や、核廃絶の事など積極的に意見が

あり勉強になりました。日本が核の傘にいる国である事、複雑な世界情勢を考えるきっかけになりました。

- ピースナイターはとても意味のある事と感じました。少しでも、平和を感じる機会に繋がってもらいたい。小さなお子さん含め、家族で楽しんで居られた姿から、平和の大事さを感じました。配布された新聞記事から、過去のピースナイターの歴史や、吉川晃司さんやイマジンの意味も理解できました。宗教や人種や貧富に関係無く、人類が平和に幸せに暮らす事をイメージすることが大事だと感じました。
- 94歳になる山本さまの証言について、移動する事もお満足では無い中、お話し頂き、ありがとうございました。戦争の恐ろしさ、核兵器の非人道さを語り続け、後世に残したいと言う気持ちが伝わって来ました。戦後生まれの人が多くなり、戦争体験を伝承する事も難しくなっているが、話を聞かせて頂いた人が、また周りの人に、広島の悲劇を伝えて行き、核兵器の無い世界に繋げていきたいと思います。



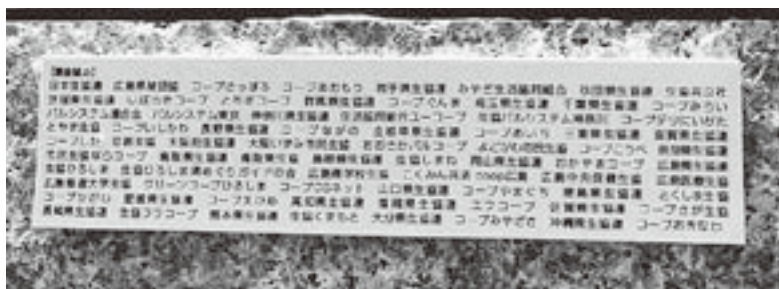
ASSIST-K 代表 高田様による講演



講演後、「自分だったらどう行動するか」「核のない世界に向けて何ができるか」について、グループに分かれてワークショップしました



MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島によるピースナイター観戦。5回にイマジンの熱唱を聞きながら、プラカードを広げ、球場全体が一体感に包まれました



「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」11号碑 寄付に協力した生協（連合会）名が刻まれています



平和記念公園と参加者の集合写真

東日本大震災被災地（福島県）視察研修

①行 程 2024年9月2日(火)～3日(水)

②参 加 者 福島県生協連 佐藤会長

久保・津田・隠岐・黒田・山本・中井・阪口・岡田・東中川・両井口・西口・
永野・東乃・松谷・家治・丹羽・清水・首藤・谷・城塚（いずみ生協）、
伊藤（よどがわ生協）、久保・竹市（エスコープ）、内藤・奥田・清水・植田・
吉村（パルコープ）、小野田（生活クラブ生協）、榎田（きづがわ医療生協）、辻・
藤井（大阪公立大）、福井・荻田（こくみん共済）、大江・中村・前田（府連）
合計38名

③行程概要

日 程	内 容
9 / 2(火)	8：15 大阪国際空港（伊丹空港）集合
	9：20 大阪国際空港（伊丹空港）出発 ANA733便
	10：35 仙台空港到着
	10：50 貸切バスへ乗換。仙台空港出発
	12：25 東京電力廃炉資料館 到着 見学
	13：25 昼食（お弁当）
	13：45 概要説明・入構案内・本人確認
	14：25 東京電力廃炉資料館 出発（専用のバス移動）
	14：40 福島第一原子力発電所 到着 入館手続き、構内視察
	① 1～4号機側ブルーデッキ（降車見学）
	② 多核種除去設備（高性能ALPSなど）
	③ 5～6号機側グリーンデッキ（降車見学）
	④ 地下水バイパス設備
	⑤ ALPS処理水サンプル（降車見学）
	16：30 福島第一原子力発電所 出発
	16：50 東京電力廃炉資料館 到着 質疑応答
	17：10 東京電力廃炉資料館 出発
	17：45 Jヴィレッジ到着 チェックイン
	18：15 夕食交流会

9 / 3(水)	7:00 起床・朝食
	8:40 J ヴィレッジ 出発
	8:55 特定廃棄物埋立処分施設リプルンふくしま 到着 見学
	10:05 特定廃棄物埋立処分施設リプルンふくしま 出発
	10:15 とみおかアーカイブミュージアム 到着 見学
	11:05 とみおかアーカイブミュージアム 出発
	11:30 レストランエフ 到着 昼食（お弁当）
	12:10 東日本大震災・原子力災害伝承館 ・語り部（12:20～13:00） ・館内見学
	14:30 東日本大震災・原子力災害伝承館 出発
	14:40 震災遺構 請戸小学校 到着 見学
	15:30 震災遺構 請戸小学校 出発
	16:10 オデッテかしま 到着 買物
	16:40 オデッテかしま 出発
	17:25 仙台空港 到着
	18:40 仙台空港 出発 ANA740便
	20:30 大阪国際空港（伊丹空港）到着・解散

9月2日（火）～3日（水）の日程で、大阪府生協連会員生協及び役員を対象に、「福島県視察研修」を実施し、38名が参加しました。

同研修の実施にあたり、福島県生活協同組合連合会の佐藤一夫会長には、視察コースの組み立て、当日のご同行、バス移動時の「東日本・津波・原発事故大震災から14年。記憶つないで、今を伝えて」の講義等、多大なご協力をいただきました。

一日目は、大阪国際空港を午前9時過ぎに出発し、10時30分過ぎに仙台空港に到着。仙台空港で福島県生協連の佐藤会長のお出迎えを受けて、貸切バスに乗換え廃炉資料館に向かいました。東京電力のご案内で、廃炉資料館の見学と、福島第一原子力発電所の構内視察を行いました。宿舎はJ ヴィレッジにチェックインし、夕食会では参加者どうし、交流しました。

二日目は、特定廃棄物埋立処分施設リプルンふくしまを見学。その後、とみおかアーカイブミュージアムを見学しました。続いて昼食後に、東日本大震災・原子力災害伝承館にて語り部によるお話を聞き、館内を見学。最後に震災遺構である請戸小学校を見学し、仙台空港から帰阪しました。

④ 参加者感想（抜粋）

- 当時の原発内部の状況や爆発が起きてしまった理由をあらためて学ぶことができ、原発に関するニュースを今後は自分事として考えようと思うきっかけになりました。
- 周囲の状態が修繕された建物がある中で、まだ当時の状態の建物もあり、当時の水素爆発の威力による爪痕を14年経った今でも見ることができました。
- 汚染された土壌や建物、瓦礫などがそれぞれどのように処分されるのかが分かりやすく知ることができました。原発の廃炉などの対応も含めて40年以上の年月を要すると聞き、気の遠い話だと思いつつも、これは現実の話で他人事ではないと考え直しました。

- 震災で家族を失った方の写真が多く展示されており、胸が苦しくなりました。原子力発電所は、地域の方に多大な経済的发展をもたらしてきた一方で、事故により日常生活や子どもの将来まで奪ってしまいました。

誰かの政治的判断に任せ、甘えて生きるのではなく、私たち大人一人ひとりがリスクとメリットを考えて判断していかないのだと気付かされました。

- 福島に来たのが初めてでした。思っていたよりもずっとずっと復興は進んでいませんでした。建物もできていて普通に暮らせるようになっていたんだと勝手に思っていました。被災直後と比べれば前進しているのかもしれませんが今もなお入れない地域があること、避難している方がまだまだいることを知って、3.11の大きさを痛感しました。放射能に対する怖さが訪れる前はありましたが、様々な場所で現状を知り、学ぶことができて本当によかったです。とても勉強になりました。



2日間同行していただいた福島県生協連の佐藤会長



1日目は東京電力廃炉資料館内の見学した後、福島第一原子力発電所の見学をしました



福島第一原子力発電所の入構案内を受ける様子



2日目はリプルンふくしまの施設にて、放射性物質や汚染された廃棄物の埋立処分など学びました



実際の測定器を使い空間線量率の測定体験をしました



東日本大震災・原子力災害伝承館にて、震災当時の状況を語り部さんから聞きました



展示を見学する参加者



震災遺構の請戸小学校



請戸小学校内を見学する参加者



参加者の集合写真

第1回 理事・監事研修会を開催しました

8月21日（木）、「第1回理事・監事研修会」を開催しました。6会員生協、大阪府、日本生協連から49名が参加しました。

はじめに大阪府の生協を所管する府民文化部 男女参画・府民協働課の内畠有梨さんから、「生協検査における特徴的な指摘事項」と題して「生協検査の目的」と「令和6年度検査で指摘した主な事項」について報告がありました。

「令和6年度検査で指摘した主な事項」としては、以下の8点について報告がありました。

① 登記の遅延について

- ・法定期限内に登記されていない、登記事項の変更登記が行われていない。

② 組合員名簿について

- ・法定記載事項（氏名・住所・加入年月日・出資口数・出資額・払込年月日）が記載されていない。

③ 事業について

- ・現在行われていない事業が定款に記載されている。

④ 議案書の誤記について

- ・契約書や定款と議案書の数値に相違がある。

⑤ 監事監査について

- ・監事監査規則や監事会規則等に定める運営がなされていない。

⑥ 総代の人数について

- ・国通知の基準に基づく適正な人数を確保していない。

⑦ 理事の職務執行について

- ・役員の理事会への出席について、特定の理事の出席が低調である。

⑧ 二項組合員の加入承認について

- ・定款等の規定に従って承認手続きが行われていない。加入時の加入承認基準が作成されていない。

その他、次期繰り越し剰余金に教育事業等繰越金が含まれている旨の注記がない、政治的中立の確保について報告がありました。

続いて、日本生活協同組合連合会 法務部の菅本麻衣子さんを講師に、「生協における役員の職務と責任」について学習しました。菅本さんからは、以下の4つのテーマについて、根拠となる法や定款等をもとに、正しく理解できるよう丁寧に講義いただきました。

はじめに～ ICA 声明と生協法

- ・ICA 声明における協同組合の「定義」と、生協法における「生活協同組合」像について

① 生協の活動・運営に関する法的なルール

- ・生協の活動と生協法、生協法と定款・規約の違いについて。

② 生協の機関

- ・機関とは、生協の機関について。

③ 非常勤役員の役割と責任

- ・組合員理事・監事の役割、善管注意義務と忠実義務、非常勤役員の責任、役員の責任が問われた事例等について

第2回は9月10日（水）「監事監査の基本と監査のポイント」をテーマに、第3回は10月15日（水）「経営分析の基礎」をテーマに実施します。



大阪府 内島さんからの報告



日本生協連 菅本さんの講義



会場の様子

第2回 理事・監事研修会を開催しました

9月10日（水）に開催しました。9 会員生協、日本生協連から合計49名が参加しました。

日本生活協同組合連合会 渉外広報本部 法務部の井藤康治さんを講師に「監事監査の基本と監査のポイント」について学習しました。

井藤さんから、以下の4つのテーマについて講義いただきました。

○監事の職務の基本、 ○業務監査の基本、 ○会計監査の基本、 ○監査報告の作成

最初に、生協の健全な運営のための生協自身による管理体制であること、組合員の意思に沿って代表理事が経営組織を指揮して業務執行していくための仕組み（狭義のガバナンス）と、代表理事の指揮のもとに経営組織をコントロールするための管理体制（マネジメント・内部統制）に分けることができることについて学びました。

次に、監事は、意思決定・業務執行の流れから独立した立場で、理事の職務執行を監査することにより、生協の運営が適切に行われるよう役割を果たすことについて学びました。

さらに、監事の職務と権限・義務・責任について、法律や施行規則をもとにわかりやすく解説いただき、監査や監査報告の作成など実践についても紹介いただきました。

午後からは、グループにわかれて講義の感想や、理事・監事の職務上での課題・悩みについて交流しました。



日本生協連 井藤さんの講義



会場の様子

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

ジェンダーフォーラム協議会 学習会を受けて

大阪いずみ市民生活協同組合
副理事長 椿原 雅子

先日、日本生活協同組合連合会政策企画室の平野路子氏をお招きして、「日本生協連のダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）について」学ぶ機会をいただきました。テーマは『地域社会で次世代に信頼される生協となるために』。現代社会がなぜDE&Iやジェンダー平等を求めるのか。その背景や組織風土改革の必要性、そして具体的な取り組みが語られました。

学びを通して「生活協同組合として目指すもの」について改めて考えました

ジェンダー平等や働きやすい環境づくりは徐々に進んでいるものの、変化のペースは緩やかだと感じます。例えば、男性の育休取得率が年々上昇している一方で、女性ほどの日数を休む人は少なく、復職時の影響を男性が気にしているのではと思います。人々の価値観にアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）が立ちはだかっていることが一つの要因ではないでしょうか。男女を問わず自身の生活を守りながら、働きがいを見い出せる職場とすることが大切だと思いました。

誰もが働きがいを見つけられる職場を実現するにはどうすればよいか

「見慣れた風景に満足せず、違和感があれば意見を出せるそんな組織か?」「多様な考えや視点を恐れず受容する柔軟な職場環境になっているか?」など、職場の環境の築き上げが重要になってくるのだと思いました。

その際、重要となるのは「平等」と「公平」を正しく区別することです。一定の支援を同じように与える平等性ではなく、個々の状況に配慮した支援を行い、公平な機会を提供するエクイティの考え方が鍵となります。この考え方を取り入れることで、より多くの人々が能力を最大限に発揮できる場となり、そこで生まれてくる働き手の喜びや成長は、地域と密接にかかわる生協の存在価値を高め、事業の発展にもつながっていくのだと思いました。

講演後には協議会メンバー間で感想を共有しました。「男性の育休取得は進んでいるが、制度改正や企業努力も引き続き必要」「アンコンシャスバイアスに気付いた時、否定からでなく交流して気付いてもらうことが有効」という意見などが出ました。自生協の課題を改めて認識し、その解決に向けて何ができるかを考える良い機会になったと感じます。

まずは職場で互いに対話することを意識し、その中で個々の状況を話せる組織であってほしいと思います。そして、時代のニーズに応え、変革していける柔軟な組織でありたい。そうした歩みが地域から信頼され続ける生協を築く礎となるのではないのでしょうか。

「生協があって良かった」と感じてもらえる組織でありたい

働くことの価値を見つけられる組織に！そして、選ばれる組織に！
そのことで地域社会から信頼される生協として存在し・成長し続けられるのだと思いました。「生協があって良かった。」と組合員だけでなく、職員・その家族からも感じてもらえる生協であり続けたいです。

スケジュール

9月

- 1日(金) 9月度健康チャレンジ実行委員会
- 2日(火)～3日(水) 東日本大震災被災地（福島県）視察研修
- 6日(土) 大阪府ドーン de キラリ シングルマザーフェスティバル
- 8日(月) OCoNoMi おおさか第33回幹事会
- 10日(水) 第2回理事・監事研修会
- 11日(木) 第2回ジェンダーフォーラム協議会
- 12日(金) OCoNoMi おおさか若手職員合同研修会
- 16日(火) 会報発行
- 17日(水) 第2回組織活動委員会
- 17日(水) なにわの消費団体連絡幹事会
- 18日(木) 第2回大規模災害対策協議会
- 19日(金) 県連全国推進会議（～20日）
- 20日(土) 関西万博 レーガコープとJCAの連携イベント(なにわフードバンク報告)
- 24日(水) 第5回文楽・ファミリーコンサート実行委員会
- 24日(水) 消費者支援機構関西（KC's）理事会
- 25日(木) 富山県協同組合協議会の視察研修会（OCoNoMi おおさか視察）
- 25日(木) 関西地連運営委員会
- 26日(金) OCoNoMi おおさか世話役会
- 27日(土) 消団連総会
- 30日(火) 分野別会議（大学生協）

10月

- 2日(木) 女性役員懇談会
- 3日(金) 10月度 健康チャレンジ実行委員会
- 3日(金) 消費者支援機構関西（KC's）双方向コミュニケーション
- 6日(月) 分野別会議（医療生協）
- 7日(火) なにわフードバンクしっかり食べや事務局会議
- 8日(水) 消費者支援機構関西（KC's）常任理事会
- 9日(木) OCoNoMi おおさか第34回幹事会
- 10日(金) 「被爆ピアノミニコンサート」（大阪市中央公会堂）
- 15日(水) 第3回理事・監事研修会
- 15日(水) なにわの消費団体連絡幹事会
- 16日(木) 第2回理事会
- 22日(水) 生協大会実行委員会
- 27日(月) 分野別会議（職域・共済）
- 29日(水) 消費者支援機構関西（KC's）理事会

11月

- 4日(火) OCoNoMi おおさか第35回幹事会
- 7日(金) 11月度 健康チャレンジ実行委員会
- 7日(金) 近畿地区生協府県連協議会（京都）
- 12日(金) 日本生協連理事会
- 13日(木) 第3回ジェンダーフォーラム協議会
- 17日(月) 会報発行
- 18日(火) 分野別会議（地域生協）
- 19日(水) 第3回組織活動委員会
- 19日(水) なにわの消費団体連絡幹事会
- 20日(木) 第3回大規模災害対策協議会
- 20日(木) おおさかパルコープ50周年式典
- 26日(水) 生協大会（オービックホール）
- 27日(木) 関西地連運営委員会